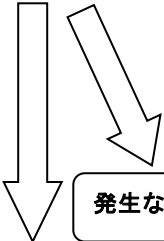
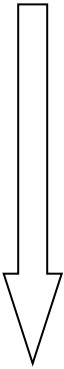
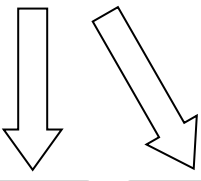


竜巻（ミサイル発射）対応マニュアル

（１）生徒在校時

（朝霞市立朝霞第二中学校）

対応		気象状況等	校長・教頭等	教職員	児童生徒
防止・準備		天気予報・雷注意報 ・気象状況の情報収集に努める。 ・キーワード 「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」	☐ 安全管理 ●マニュアルの見直し、共通理解 ●校内研修（学校安全）の実施 ●避難訓練の実施 ●保護者、地域、関係機関との連携	☐ 安全指導	☐ 安全学習 ・竜巻について知る。 ・身の安全の守り方、避難行動について知る。
対応	第１行動	竜巻注意情報  発生なし→解除指示→教育活動再開	☐ 第１行動指示 ・情報収集（気象庁情報等） ・避難状況の確認 ・放送、拡声器又は伝令	☐ 第１行動開始 「竜巻が発生しています。身を守る準備をください。」 ○外にいる者は校舎内、教室へ移動する。 ○教室内ではできるだけ中央に寄る。机を中央に寄せる。 ○窓、カーテンを閉める。	
	第２行動	竜巻発生（ミサイル発射） 	☐ 第２行動指示	☐ 第２行動開始 「竜巻（ミサイル）が接近しています。自分の身をしっかり守りなさい。」 ○机の下にもぐる。 （窓、ドア、壁から離れる） ○頭と首を守る。 （防災頭巾やヘルメットなど、無い場合は両手） ＜教職員の共通行動＞ ●児童生徒の避難行動を確認する。 ●教職員は、その場にいる児童生徒を勇気づける。 ●教職員自身も身を守る行動をとる。	
	第３行動	竜巻通過（ミサイル警戒解除）  教育活動不可能 教育活動可能	☐ 第３行動指示 ☐ 状況確認 ・児童生徒安否、被害状況確認 ・被害状況により、消防、救急、教育委員会へ連絡 ・学校周辺確認	☐ 第３行動開始 「先生方は状況を報告してください。児童生徒はその場に待機しなさい。」 ●児童生徒を落ち着かせる。 ●児童生徒の安否、被害状況を確認する。 ●状況を管理職へ報告する。 ●児童生徒をその場に待機させる。待機させられ状況の場合は安全な場所へ誘導する。（負傷者への応急手当）	
回復		☐ 教育活動続行不可能な被害 ・学校災害対策本部設置（対応検討） ・安全な場所へ児童生徒を誘導 ・メール配信、HPによる情報提供（下校の遅れ、場合によっては引渡し）	☐ 学校再開 ☐ 災害対策評価	☐ 教育活動続行可能 ・授業再開 ・学校周辺の安全が確認された後、通常下校 ・メール配信、HPによる情報提供 ☐ メンタルサポート	

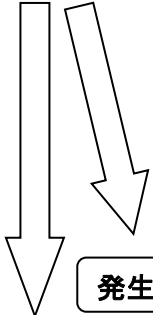
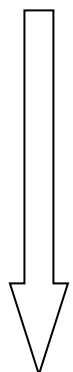
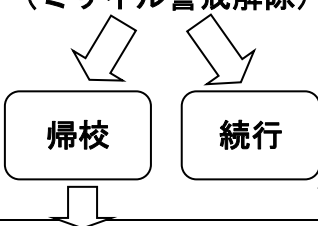
(2) 生徒登下校時

(朝霞市立朝霞第二中学校)

対応		校長・教頭等	教職員	気象状況等	児童生徒
防止・準備		☐ 安全管理 ●通学路点検 ●登下校指導 ●通学路、通学方法等の把握 ●保護者、地域との連携（災害発生時の申し合わせ等）	☐ 安全指導	天気予報・雷注意報 ・気象状況の情報収集に努める。 ・キーワード 「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」	☐ 安全学習 ・「地域安全マップ」の作成
対応	第1行動	☐ 第1行動指示 ・情報収集（気象庁情報等） ・登下校状況の把握 ・放送、拡声器又は伝令	☐ 第1行動開始 ・登下校状況の確認 ・在校児童生徒の安全確保	竜巻注意情報 	☐ 第1行動開始 ・登下校前に竜巻注意情報が発令された場合は自宅又は学校で待機する。 ・登下校中に竜巻の発生が予測された場合は、安全な場所へ避難する。 ・近くの人に助けを求める。
	第2行動	☐ 第2行動指示	☐ 第2行動開始 ・在校児童生徒の安全確保	竜巻発生 （ミサイル発射） 	☐ 第2行動開始 ・自らの身を守る場所で安全を確保する。 ・頭、首を守る。
	第3行動	☐ 第3行動指示 ☐ 状況確認 ・児童生徒安否、被害状況確認 ・被害状況により消防、救急、教育委員会へ連絡 ・学校周辺の安全確認確	☐ 第3行動開始 ・在校児童生徒確認安否、被害状況確認 ・在校していない児童生徒の安否確認 ・負傷者への応急手当を行う。	竜巻通過 （ミサイル警戒解除） 	☐ 第3行動開始 ・登下校中の場合、学校か自宅へ安全に戻る方に行く。 ・状況によっては避難場所で待機する。 ・自宅に戻った際は学校へ連絡する。
回復		☐ 教育活動不可能な被害 ・学校災害対策本部設置（対応検討） ・安全な場所へ児童生徒を誘導 ・メール配信、HPによる情報提供（休校、児童生徒の下校、場合によっては引渡しについて）		☐ 教育活動可能 ・通常授業 ・メール配信、HPによる情報提供	
		☐ 学校再開 ☐ 災害対策評価	☐ メンタルサポート		

(3) 校外行事

(朝霞市立朝霞第二中学校)

対応		在校教職員	気象状況等	引率教職員	児童生徒
防止・準備		☐ 安全管理 - 日程の把握 - 児童生徒の名簿の確認 - 気象状況等の確認	天気予報・雷注意報 - 気象状況の情報収集に努める。 - キーワード 「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」	☐ 安全指導	☐ 安全学習 ●現地の防災計画、避難所、避難場所、医療機関の確認 ●宿泊場所の構造、安全な場所、非常口、避難経路の確認 ●児童生徒緊急連絡先の管理 ●往復の交通機関における安全確認
対応	第1行動	☐ 情報収集 - 情報収集（気象庁情報等） - 現地との連絡（現地の近隣で竜巻が発生し、被害がでた場合も状況を確認）	竜巻注意情報  発生なし→解除指示→教育活動再開	☐ 第1行動指示	☐ 第1行動開始 「宿泊所等にいる場合」 ○外にいる者は室内へ避難する。 ○室内の安全な場所に避難する。 ○できるだけ下の階に避難する。 ○窓、カーテンを閉める。 「屋外にいる場合」 ●安全な場所へ直ちに避難させる。
	第2行動	☐ 情報収集 情報収集（気象庁情報等）	竜巻発生（ミサイル発射） 	☐ 第2行動指示	☐ 第2行動開始 「その場に應じた避難行動をとる」 ○机の下にもぐる。（窓、ドア、壁から離れる） ○頭と首を守る。（防災頭巾やヘルメットなど、無い場合は両手） ＜教職員の共通行動＞ ●児童生徒の避難行動を確認する。 ●教職員は、その場にいる児童生徒を勇気づける。 ●教職員自身も身を守る行動をとる。
	第3行動	☐ 情報収集 - 現地の情報収集（安否、被害状況等） - 中止になった場合の家庭、教育委員会への連絡	竜巻通過（ミサイル警戒解除）  帰校 続行	☐ 第3行動指示	☐ 第3行動開始 ●児童生徒を落ち着かせる。 ●児童生徒の安否、被害状況を確認し状況を学校へ報告する。 ●被害状況により、消防、救急へ連絡する。 ●負傷者の応急手当を行う。
回復		☐ 教育活動続行不可能な被害 - 学校災害対策本部設置（対応検討） - 家庭への連絡、教育委員会へ状況説明 - メール配信、HPによる情報提供（帰校等） - 担当旅行会社との連絡		☐ 教育続行活動可能 - 校外行事再開 - メール配信、HPによる情報提供	
		☐ 学校再開 ☐ 災害対策評価		☐ メンタルサポート	